



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

テーマ 「早春の花を見よう」

日時 2017年3月12(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:6名(うち子ども3名)

指導員:5名

陽射しが暖くなり、春の花が咲き始める頃です。昨年3月の観察会も同じテーマで行い、25種の花を見ていたので、すこし頑張って30種くらいはいけるかと期待して回りました。

しかし、去年は開花していたコブシやハクモクレンはまだ蕾で、トサミズキやアメリカハナノキも一両日中には開くかなといった蕾の状態でした。

それでも芝生や河原にはホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、イヌナズナ、ミチタネツケバナなどの花が咲き、春の雰囲気を楽しめました。結局観察できたのは17種で、昨年ほどは咲いていませんでした。このところ寒い日が続いていたので、開花が遅れているのでしょう。

また、花にどんな昆虫が来ているかにも気をつけて回りましたが、ナナホシテントウ、モンキチョウ、ベニシジミ、カタテハ、テングチョウだけで、花に止まっているところは見られませんでした。

以外と好評だったのがフェンスに絡まっていたオニドコロの実です。実の中に残っていた翼のついた種をじっくり観察しました。

この日、注目を集めたのは大野極楽寺公園で見られた胸から頭部の白いムクドリでした。教えてくれた人によると、突然変異らしく、1月からここに居着いているとのこと。身近な公園でも、思いがけない生きものに会えることがあるものだと感じました。(報告:齋竹)

<観察できたもの>

花:(白4)ミチタネツケバナ、オランダミミナグサ、コハコベ、ウメ、(黄色6)ノゲシ、セイヨウタンポポ、ニホンタンポポ、イヌナズナ、サンシュユ、ロウバイ、(ピンク・赤・紫5)ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ノジスミレ、スズメノエンドウ、ヤブツバキ、(青1)オオイヌノフグリ、

(その他1)アオスズメノカタビラ

開花間近な蕾:アメリカハナノキ、トサミズキ

鳥:ツグミ、トビ、エナガ、キジバト、シメ、モズ、シジュウカラ、スズメ、アオジ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、ウグイス(声)、ヒバリ(声)、コジュケイ(声)、コゲラ(声)



(フェンスにあったオニドコロの実を観察)



(頭部が白いムクドリ写真提供:Yさん)



(開き始めたサンシュユの花)